

【協働・連携】 情報の「見える化」

〔協働・連携／情報の「見える化」〕

項目番号 47

【計画（Plan）】

取組項目	市民の声の情報共有	所管部局	経営企画部
事業の目的・概要	事務の効率化を図るため、市民からの市政に関する要望等への対応や回答を、庁内ネットワークを活用し、庁内で情報共有する。		
取組期間	平成 29 年度～		
スケジュール	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度 (平成 31 年度)
情報内容の更新			
財政効果額〔千円〕（見込み）	—	—	—
人的効果（見込み）	—	—	—
期待する効果	・事務の効率化 ・市政への市民の声の反映		

【取組実績（Do）】

スケジュール	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度 (平成 31 年度)
情報内容の更新	○	○	○
財政効果額〔千円〕	—	—	—
人的効果	—	—	—

【これまでの取組内容（Do）】

取組内容	【平成 29 年度】 8 月 庁内 O A ネットワークを活用し平成 28 年度の市政に関する要望等への回答の情報共有 【平成 30 年度】 6 月 庁内 O A ネットワークを活用し平成 29 年度の市政に関する要望等への回答の情報共有 【令和元年度（平成 31 年度）】 6 月 庁内 O A ネットワークを活用し平成 30 年度の市政に関する要望等への回答の情報共有
------	---

【取組に対する評価（Check）】

評価	各部署に日々寄せられている、市民からの広聴ボックス、手紙、電子メールによる質問・要望や市民団体からの要望等を集約し、庁内で情報共有することで、市民対応の均質化や回答作成の迅速化、知識やノウハウの継承につながったほか、日常業務において市民ニーズに即した事業を実施することができた。
----	--

【今後の方向性（Innovation）】

今後の方向性	市民の声は、市民が主役のまちづくりを進める上で、非常に貴重な情報であるため、今後も継続して取組を行う。 なお、今後は、年に一度の集約を、月に一度に変更し、迅速な情報共有を行う。
--------	--

[協働・連携／情報の「見える化」]

項目番号 48

【計画（Plan）】

取組項目	上下水道事業“見える化”の推進	所管部局	上下水道局
事業の目的・概要	下水道事業について、浸水対策2大プロジェクト（高宮ポンプ場・古川雨水幹線整備事業）を中心に、市民の目に見える形での広報啓発活動を展開する。また、水道事業への関心を高めるため、市民参加型事業の実施や水に関する学習機会の提供、出前講座等でのPR活動など、水道事業の“見える化”の取組を推進する。		
取組期間	平成29年度～		
スケジュール	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (平成31年度)
積極的な広報活動の推進			
市民参加型事業等の実施・推進			
財政効果額〔千円〕（見込み）	—	—	—
人的効果（見込み）	—	—	—
期待する効果	・効率的・効果的な行政情報の提供 ・事業に対する市民の理解・関心度の向上		

【取組実績（Do）】

スケジュール	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (平成31年度)
積極的な広報活動の推進	○	○	○
市民参加型事業等の実施・推進	○	○	○
財政効果額〔千円〕	—	—	—
人的効果	—	—	—

【これまでの取組内容（Do）】

これまでの 取組内容	【平成 29 年度】 4 月～6 月 ・市立小学校 4 年生を対象に水に関する学習会を開催 ・高宮ポンプ場整備事業の啓発ポスターの掲示による PR を実施 6 月 環境フェアにおいて、利き水や水くみ体験、浸水対策としてハード事業の内容説明、止水板の紹介に係るパネル、雨水貯留タンクの展示、マンホールコースターの配布等の実施による上下水道事業の PR を実施 7 月～12 月 市立小学校 4 年生を対象に「水道水とのかかわり」を描いた絵画作品を募集し、入選作品について市役所等で展示 8 月 市内在住・在学の小学生と保護者を対象に村野浄水場見学のバスツアーを実施 12 月 市内在住・在職・在学の人を対象に水の写真展の作品を募集（2 月にアルカスホールで展示） 2 月 高宮ポンプ場整備事業起工式の開催 【平成 30 年度】 平成 29 年度と同様に「水に関する学習会」「絵画作品の募集・展示」「環境フェアでの上下水道事業の PR」「村野浄水場見学バスツアー」「水の写真展」を実施 7 月 おいしい水のみ場の設置（市立小学校 11 校において、1 校当たり、手洗い場改良 1 か所、ウォータークーラー 2 基設置） 8 月 ・市民を対象とした高宮ポンプ場整備事業の雨水幹線工事建設工事の現場見学会を開催 ・ケーブルテレビに出演し浸水対策事業を PR ・マンホールカードの配布を開始 【令和元年度（平成 31 年度）】 平成 30 年度と同様に「水に関する学習会」「絵画作品の募集・展示」「環境フェアでの上下水道事業の PR」「村野浄水場見学バスツアー」「水の写真展」を実施 4 月 マンホールカードを追加配布 6 月 ケーブルテレビに出演し、クリーンリバー寝屋川作戦・春を PR 8 月 市民を対象とした「どきどき治水見学バスツアー」（治水施設 6 箇所見学）を開催
-----------------------	---

【取組に対する評価（Check）】

評価	水道及び下水道施設の見学会を始め、各種イベントや絵画展での PR 活動など、様々な観点による啓発活動を通じ、それに関する理解・関心度を高めることができた。
-----------	--

【今後の方向性（Action／Improve）】

今後の方向性	各種の啓発事業を精査するなど、上下水道事業の啓発活動の重点化・効率化を図る中で、より市民の理解・関心度を高めていく。
---------------	---

〔協働・連携／情報の「見える化」〕

項目番号 49

【計画（Plan）】

取組項目	オープンデータ化事業の推進	所管部局	経営企画部、 関係部局
事業の 目的・概要	行政の透明性、信頼性の向上や、市民が主役のまちづくりの推進、住民参加、協働の推進に寄与するため、市が保有するデータを機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールの下で公開する。		
取組期間	平成 29 年度～		
スケジュール	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度 (平成31年度)
オープンデータ環境の整備			
オープンデータ公開サイトの構築・運用			
財政効果額〔千円〕（見込み）	—	—	—
人的効果（見込み）	—	—	—
期待する効果	・ 行政の透明性・信頼性の向上 ・ 市民サービスの向上 ・ 市民参画・協働の推進		

【取組実績（Do）】

スケジュール	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度 (平成31年度)
オープンデータ環境の整備	○	—	—
オープンデータ公開サイトの構築・運用	△	○	○
財政効果額〔千円〕	—	—	—
人的効果	—	—	—

【これまでの取組内容（Do）】

取組内容	【平成 29 年度】 1 月 他市の状況調査の実施 2 月 オープンデータの庁内調査の実施 3 月 定住促進サイトの公開時期に合わせて、ホームページで公開することを検討 【平成 30 年度】 10 月 市ホームページでオープンデータを公開 【令和元年度（平成 31 年度）】 1 月 オープンデータの庁内調査の実施 3 月 市ホームページに公開するオープンデータを追加
------	---

【取組に対する評価（Check）】

評価	市が保有するデータを市ホームページに公開することで、市民等が市への手続きをすることなく、データの取得や二次利用ができるようになり、市民サービスの向上に寄与した。
----	--

【今後の方向性（Innovation）】

今後の方向性	国が公開を推奨するデータを基本に内容の拡充を図るとともに機械判読により適したデータ形式による提供を進め、市民サービスの向上を図る。
--------	---

〔協働・連携／情報の「見える化」〕

項目番号 50

【計画（Plan）】

取組項目	スマホアプリの構築・運用	所管部局	経営企画部、 関係部局
事業の 目的・概要	市民が必要とする情報を分かりやすく提供するため、携帯端末用アプリケーションソフトを構築し、きめ細かな情報発信や、市民が容易に情報を入手することができる環境整備を推進する。		
取組期間	平成 29 年度～		
スケジュール	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度 (平成31年度)
スマホアプリの構築・運用			
財政効果額〔千円〕（見込み）	—	—	—
人的効果（見込み）	—	—	—
期待する効果	・ 行政の透明性・信頼性の向上 ・ 市民サービスの向上 ・ 市民参画・協働の推進		

【取組実績（Do）】

スケジュール	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度 (平成31年度)
スマホアプリの構築・運用	○	○	○
財政効果額〔千円〕	—	—	—
人的効果	—	—	—

【これまでの取組内容（Do）】

取組内容	【平成 29 年度】 7 月 携帯端末用アプリケーションソフト構築開始 11 月 市公式アプリ「もっと寝屋川」運用開始 【平成 30 年度】 4 月 法律相談以外の市民相談業務（国税相談、相続遺言相談等）にも予約受付を拡大 5 月 道路の危険箇所通報の対応状況を公開 6 月 ・緊急連絡先・相談窓口一覧を掲載 ・子育てリフレッシュ館(リラット)で行う一時預かり保育予約の受付開始 9 月 子ども見守り GPS システムとの連携 1 月 マイナンバーカード申請受付の予約受付開始 2 月 レポート投稿機能の拡大（公園の遊具破損の通報、これって何ごみ？） 【令和元年度（平成 31 年度）】 4 月 公共施設予約システムとの連携開始 5 月 校区情報機能の拡大（市立保育所・幼稚園） 7 月 出張マザーズコーナーの予約受付開始 8 月 集団健診（がん検診など）の予約システムとの連携開始 1 月 いじめの通報受付開始
------	--

【取組に対する評価（Check）】

評価	市民が必要とする行政情報等簡単に入手できるツールとして、きめ細やかに情報発信を行うとともに、利用者アンケートを定期的の実施し、市民ニーズの高い機能を積極的に追加したことにより利便性が向上し、インストール数は約 25,000 件を達成するなど、広報誌、市ホームページと合わせて主力となる情報発信媒体となった。
----	--

【今後の方向性（Innovation）】

今後の方向性	引き続き、双方向性や実用性など市民ニーズの高い機能強化を行い、更なる利便性の向上を図るとともに、転入時や入学時、母子手帳交付時など効果的なタイミングで広報活動を行うことにより、更なる利用促進を図る。
--------	--

〔協働・連携／情報の「見える化」〕

項目番号 51

【計画（Plan）】

取組項目	シティプロモーションの推進	所管部局	経営企画部、全部局
事業の目的・概要	市のイメージアップ、市民満足度の向上を図るため、ターゲットを明確にした広報活動を行う戦略を策定・推進する。		
取組期間	平成 29 年度～		
スケジュール	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度 (平成 31 年度)
市の P R に係る戦略の策定			
戦略的な P R 活動の推進			
財政効果額〔千円〕（見込み）	—	—	—
人的効果（見込み）	—	—	—
期待する効果	・市のイメージアップ ・市民満足度の向上		

【取組実績（Do）】

スケジュール	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度 (平成 31 年度)
市の P R に係る戦略の策定	○	—	—
戦略的な P R 活動の推進	○	○	○
財政効果額〔千円〕	—	—	—
人的効果	—	—	—

【これまでの取組内容（Do）】

取組内容	【平成 29 年度】 8 月 職員研修の実施 10 月 職員及び市内金融機関就業者へのアンケートの実施 12 月 シティプロモーション戦略基本方針の策定 【平成 30 年度】 4 月 地方自治研究機構との共同調査研究の実施 10 月 ・動画コンテストの作品募集開始 ・プロモーション動画の制作開始 11 月 ・インターネット広告の実施（～平成 31 年 3 月） ・シティプロモーション意見交換会の実施（年度中に計 3 回実施） 2 月 ・動画コンテスト最終審査及び表彰式の実施 ・読売テレビにてインフォーマーシャルの放送 ・職員研修の実施 3 月 ・プロモーション動画の公開 ・読売テレビにてテレビ番組の放送 【令和元年度（平成 31 年度）】 5 月 市政感謝会においてプロモーション動画及び動画コンテスト受賞作品の上映 7 月 イオンモール四條畷において P R イベントの実施 8 月 ・スクリーン広告（シネアド）によるプロモーション動画の上映 ・萱島駅前ビル屋上ビジョンにおいてプロモーション動画の上映 1 月 インターネット広告の実施（待機児童ゼロプラン R（～令和 2 年 9 月（予定））
------	---

【取組に対する評価（Check）】

評価	シティプロモーション戦略基本方針を策定し、同方針に基づいてプロモーション動画、インターネット広告、在阪準キー局のテレビ番組等を活用して、市の魅力、特長的な施策・事業等を市内外に発信し、市内外に対して、市の認知度やイメージの向上を図ることができた。
----	--

【今後の方向性（Innovation）】

今後の方向性	先進的な施策・事業がマスコミ等で取り上げられている現状からも、対外的訴求力のある施策・事業の展開と、メディア戦略を中心に、タイミングやビジュアル等を強く意識した情報発信を行うなど、より効果的なプロモーションについて検討する。
--------	---

〔協働・連携／情報の「見える化」〕

項目番号 52

【計画（Plan）】

取組項目	情報発信力の強化	所管部局	経営企画部
事業の目的・概要	情報の「見える化」を推進するため、市ホームページにおいて、市の魅力を発信する特設サイトの構築・運用、広域的で速報性の高いマスコミへの報道提供資料作成マニュアルの改訂等により、情報発信力を強化する。		
取組期間	平成 29 年度～令和元年度（平成 31 年度）		
スケジュール	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度 （平成 31 年度）
魅力発信特設サイトの構築 〔平成 29 年度追加〕			
魅力発信特設サイトの運用 〔平成 29 年度追加〕			
報道提供資料作成マニュアルの改訂・運用〔平成 29 年度追加〕			
広報広聴連絡会議の活用 〔平成 29 年度追加〕			
財政効果額〔千円〕（見込み）	—	—	—
人的効果（見込み）	—	—	—
期待する効果	・市のイメージアップ ・情報発信による市民協働の推進		

【取組実績（Do）】

スケジュール	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度 （平成 31 年度）
魅力発信特設サイトの構築 〔平成 29 年度追加〕	○	○	—
魅力発信特設サイトの運用 〔平成 29 年度追加〕	—	○	○
報道提供資料作成マニュアルの改訂・運用〔平成 29 年度追加〕	○	○	○
広報広聴連絡会議の活用 〔平成 29 年度追加〕	○	○	—
財政効果額〔千円〕	—	—	—
人的効果	—	—	—

【これまでの取組内容（Do）】

取組内容	【平成 29 年度】 6月 広報広聴連絡会議の開催 10月 ・ 広報広聴連絡会議の開催 ・ 報道提供資料作成マニュアルの改訂等 3月 定住魅力特設サイト企画・デザイン設計 【平成 30 年度】 4月 ・ 広報広聴連絡会議の開催 ・ 定住魅力特設サイトのコンテンツ(各カテゴリや市民インタビュー)の作成開始 9月 定住魅力特設サイトの公開 【令和元年度（平成 31 年度）】 6月 定住魅力特設サイトの掲載情報の更新 12月 定住魅力特設サイトの掲載情報の追加
------	---

【取組に対する評価（Check）】

評価	特色のある市の子育て・教育施策、住みやすさなど市の魅力を一体的に発信するデザイン性の高い定住魅力特設サイトを構築し、市内外に市の魅力を発信することができた。また、インターネット広告を活用し市内外のターゲットに対して積極的に発信することで、アクセス数も増加した。さらに、報道提供資料作成マニュアルを活用し、庁内における情報発信力の強化を図ることにより、報道提供数の増加だけでなく、テレビ等での報道数も増加した。
----	---

【今後の方向性（Innovation）】

今後の方向性	定住魅力特設サイトの掲載内容について、市の魅力を更に市内外に発信するため、市民ニーズに合わせた更新及び掲載項目の検討を行う。市の情報発信力を更に強化するため、引き続き報道提供マニュアルの活用を庁内で周知するとともに、タイミングやビジュアル等を強く意識し、マスコミへ積極的な情報提供を行う。
--------	---

